

日本スポーツ振興センター国立登山研修所
冬山登山事故防止のための研修施設「冬山前進基地」の使用中止について

このたび、日本スポーツ振興センター（JSC：JAPAN SPORT COUNCIL）が保有する冬山登山における事故防止のための研修施設「冬山前進基地」について、令和5年5月に実施した、構造躯体の劣化状況の確認および建物傾斜状況の調査、地震被害時に実施する「応急危険度判定の基準」に基づいたところ、危険と判定されました。これを受け、今後の当該施設の使用を中止いたしますので、お知らせします。

■冬山前進基地の概要

所在地：富山県中新川郡上市町千石南無阿弥陀外4

竣工：昭和44年11月

標高：1,310m

敷地面積：550㎡

建物面積：169㎡

構造：鉄骨2階建

収容人数：70名



冬季外観



夏季外観

JSC 国立登山研修所は、登山における健全な発展と登山事故防止のため、登山指導者養成の研修事業、安全な登山に関する情報提供、登山研修の施設提供を行っております。近年、自然志向や健康志向の高まりと相まって、登山だけでなくスポーツクライミングやトレイルランニングなど、様々なジャンルで登山に親しむ機会が増え、登山スタイルも大きく変容してきています。一方、令和4年度の山岳遭難事故件数は1961年以降で最多となったことが、警察庁のまとめで分かりました。今後とも、登山の一層の普及発展と山岳遭難事故防止のために取り組んでまいります。